

東京教区時報

第1209号
2011年5月29日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

多くの識者の論説のうち、佐藤優という作家の意見がもつとも共感できるように感じました。同志社大学神学部出身の元外交官ですが、戦後日本はアメリカ流の合理主義、生命至上主義、個人主義という思想を国家の基軸に据えて今日までやってきた。だが、今回の未曾有の国難はそのような国家システムがもはや機能しなくなつたことを証明してしまつたとい

《み手のなかで》
すべては変わる、賛美に

昭和19年生まれ私には敗戦の記憶も玉音放送の衝撃も経験がありません。小学生時代、上野や池袋の闇市や浮浪児を見聞きした覚えがあるだけです。

3・11の東日本大震災の惨状をつぶさに知るにつれ、ああ、これは第2の敗戦だと思わずにはいられませんでした。

司祭 長谷川 正昭
戦争中のキナ臭い自己犠牲や特攻精神とは区別された行動が神の嘉したもうところでしょう。

（真光教会牧師）

うのです。一身の安全を顧みず、原発の補修を志願した作業員や、危険を承知で働いている自衛官、警察官、消防官などによって現在の国家は支えられている、と。まったくそのとおりだと思います。私たちもこのような方向で、合理主義、生命至上主義、個人主義を克服していくことが望まれます。

日本聖公会の今回の迅速な行動は他教派からも高く評価されています。教区制という組織がしっかりしているからだとあらためて痛感しました。そして、これからは被災者の心のケア、精神的ケアが喫緊の課題となる

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

- ◇5月の代禱・信施奉献先
▽諸神学校のため(復活節第4主日5・15)▽名古屋学生青年センターのため▽カパテイランの働きのため▽葛飾学園(サンピエール・保育園)のため▽教区中高生世代活動のため
- ◇6月の代禱・信施奉献先
▽地球環境のために祈る日(6月5日に近い日)▽東京教区神学生のため▽沖縄週間(聖霊降臨後第2主日)▽アジア・エキユメニカル週間▽沖縄教区のため▽野宿生活者の休息施設のため(きぼうのいえ)
- ◆としえの平安
5月19日 星野 千一(74) 三光
5月24日 篠村 義夫(84) 目白

今週・来週の予定
5月29日~6月11日

- 29(日) 復活節第6主日
主教巡回 牧師任命式
聖マーガレット教会
下町G教会協議会
- 31(火) 信仰と生活委員会
- 6月
2(木) 昇天日
3(金) 教財務サービス委員会
4(土) 信仰と生活：子どもの聖歌を歌う会
5(日) 復活節第7主日(昇天後主日)
主教巡回 牧師任命式
東京聖三一教会
合同堅信式
- 7(火) 聖職養成委員会
9(木) 宣教協議会準備会
10(金) 広報委員会

- ▽6月聖路加国際病院礼拝堂
《タの祈り》 1日(水)18時半、オルガン演奏に引き続き19時から。演奏者||伊藤純子。入場無料(会場献金)。
- ▽6月ランチタイム・オルガンコンサート *聖パウロ||10日(金)、久保田陽子 *神田キリスト||15日(水)、吉田愛&ア
- レックス・ガイ *聖アモテ||21日(火)、向井泰子 各々12時20分から30分程度、入場無料。
▽堀江真理子と青島宏志の愉快な連弾コンサート 11日(土)14時、立教女学院聖マリヤ礼拝堂。2500円。主催・照会☎03(3332)4039 (平日午前中)・同院同窓会。

◇東日本大震災支援活動

緊急支援から中長期支援の時期を迎え、管区のプロジェクトと運営委員会が設置された。さまざまな活動が展開され、献金・募金はこの「いっしょに歩こう！プロジェクト」で活用される(22日付配布の首座主教書簡に詳細、小紙本日号3面に関連記事)。

◇教区フェスティバル2011

「祈ろう、ともに」

名称が久し振りに「教区」と冠されたフェスタが開催される。実行委員長・菅原裕治司祭と委員長補佐・高橋宏幸司祭、中川英樹司祭、委員11人、事務局4人からなるメンバーで、準備がすすめられている。「開催日・会場」9月19日(月)・休)・立教学院(タッカーホール

ルと同ホール横) 「内容」①

礼拝(長・倉澤一太郎執事) Ⅱ 凝らずに祈りを中心に。信施は大震災関連へ奉献。②イベント(長・井出大史) Ⅱ 出展・出店とも行い、被災地の様子を知らせるブースなどを検討中。

礼拝・イベントとも奉献先、売上げ募金先は大震災・教区1億円募金。東日本大震災で被災された方々とその地を覚え、心を寄せて「ともに祈る」フェスティバルに。「第1回連絡会」6月25日(土) 14時〜16時

「第2回連絡会」9月3日(土) 14時〜16時、いずれも聖アンデレホールで。

▽第30回教会音楽祭 6月19日(日) 15時、カトリック東京カテドラル聖マリア大聖堂。入

場無料(席上献金)。教派を超

えて讚美をと、1968年から続けて開催されている音楽祭で日本最大の教会一致集会と言われる。今年は8教派が参加し、幹事教派は日本基督教団、テーマは「光」。公募新作賛美歌3曲が披露される。聖公会は教区聖歌隊が参加奉唱。主催Ⅱ同音楽祭実行委員会。照会Ⅱ教区事務所礼拝音楽委員会迄。

【東日本大震災関連】

チャリティ・イベント

▽聖マーガレット教会信徒によるコンサート 6月12日(日) 15時、同教会。入場料Ⅱ2千円。出演Ⅱ秋吉邦子(Sop)・坂井美樹(Sop)・小貫岩夫(Ten)・平山晴子(P)。照会Ⅱ03(3334) 2812・会場教会。

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

【クローズアップ】84

「いっしょに歩こう！」

プロジェクトの活動

4月に2度開催された各教区代表の会合で、東日本大震災の支援活動が次の段階にきていることが話し合われました。大震災被害の甚大さや長期の回復・復興への道のり、原発被害に対する国際的責任などを鑑み、被災教区だけではなく日本聖公会全体が支援活動を担っていくことが非常に重要であると確認されました。そして管区常議員会での承認を経て、後日「いっしょに歩こう！プロジェクト」が設置され、次のようなスローガンを掲げ活動を開始しました。

①大震災により困難を負って生きる人々に敬意を払っていっしょに

歩くこと ②被災地の方々の生活と地域の再創造に向けていっ

しょに歩くこと ③主イエス・キリストと共に歩いてくださることに励まされていっしょに歩くこと。さらに活動方針も策定され、これまでの緊急支援活動から中長期の視点への展開という難しい時期を迎えています。

プロジェクト運営のための委員会も設置され(本部長・首座主教植松誠、仙台オフィス室長・司祭中村淳Ⅱ管区宣教主事、運営委員9名)、仙台オフィス設置、ボランティア活動のための整備、人員確保、活動選択、予算策定、仙台近郊以外で既に活動を実施している釜石・新地・小名浜・日立などの活動拠点との連携、国内外への広報活動等の

課題に取り組んでいます。

未だ被災中と言われる状況の中、現在東北教区支援室長の長谷川清純司祭と中村司祭が中心となり、教会拠点を軸にそれぞれの場が必要かつ緊急な支援活動を行っています。支援物資配布や仮設住宅への移動時支援などが目下の主な内容です。今後はこどものためのプログラムや外国人のためのホットライン開設、貧困層や高齢者の支援、原発についての学びの機会の設定、被災教区の建物修理などが予定されています。ボランティアを支える仕組みも急務です。今後も皆様の尚一層のご理解とご協力、またお祈りを賜りますようお願い申し上げます。

運営委員 司祭 笹森田鶴